

2006年10月吉日

第1回モノづくり連携大賞(日刊工業新聞社 主催)において、Stampack ソフトウェアユーザの『金属プレス成形金型産学連携研究会』様が**特別賞**を受賞いたしました。モノづくり連携大賞は、産学官連携の優れた事例を顕彰し一層の普及発展につなげる趣旨で新設されたもので全国から105件の応募あり。

受賞タイトル ITの活用による自動車部品リードタイムの短縮と熟練技術者の育成  
 -ユニークな産学連携研究会の立上げと推進・展開-  
 (IT=プレス成形シミュレーションによるプレスプロセス解析)

日刊工業新聞 2006/09/29 掲載

<第1回> 受賞案件決まる

## モノづくり連携大賞

「第1回モノづくり連携大賞」(日刊工業新聞社主催、新エネルギー・産業技術総合開発機構=NEDO共催)の受賞案件が決まりました。審査委員会(小宮山宏審査委員長=東京大学総長)が合計105件の応募案件について厳正に審査した結果、大賞以下、計9件を選定しました。同賞は産学官連携の優れた事例を顕彰し、我が国産学官連携の一層の普及発展につなげる趣旨で新設されたものです。10月11日に東京・有明の東京ビッグサイトで開かれる「産学官技術交流フェア」会場で、贈賞式と受賞者プレゼンテーションを行います。(38面に詳細)

**【モノづくり連携大賞】**  
 ▷「環状高分子材料」  
 東京大学TLO、東京大学、リクルートなど

**【日刊工業新聞社賞】**  
 ▷「産学連携・試作開発促進プロジェクト」  
 川崎市産業振興財団

**【NEDO賞】**  
 ▷「ポリ乳酸射出成形による自動車モジュール部品の新規開発」  
 広島大学、西川ゴム工業、マツダなど

**【特別賞】**  
 ▷「カーボンナノチューブの生産の企業連携と、地域活性化目指した取り組み」  
 名城大学、増岡産業原料など  
 ▷「ITの活用による自動車部品リードタイムの短縮と熟練技術者の育成」  
 北九州テクノサポート、北九州市立大学、松野プレス工業など  
 ▷「古代製鉄法『たたら吹き』の再現と日本刀および和釘等の製造」  
 奈良工業高等専門学校、柳生日本刀鍛錬工房、神戸製鋼所など  
 ▷「異分野連携による革新的タンパク質結晶化技術開発と大学発ベンチャー起業」  
 大阪大学、創品、三菱商事など  
 ▷「水産廃棄物を活用した連携による環境問題と地域振興への貢献」  
 東京海洋大学、東洋建設、気仙沼地区漁業協同組合大島支所など  
 ▷「ユビキタス商店街プロジェクト」  
 明治大学、COCO・WA・DOCO、品川区役所、戸越銀座商店街連合会



## 第1回モノづくり連携大賞

# 東大グループに大賞

本社主催

第1回モノづくり連携大賞は05年1月～06年3月までに、産学官連携で知的財産の社会的活用にある程度のものであったものが対象で、開発途上のももの含む。審査委員会では①連携経緯②シーズ・ニーズを結びつける工夫や特異性③連携内容④創出された技術・成果の革新性や独創性⑤市場性⑥社会貢献性・地域性⑦地場産業活性化や環境・福祉など社会貢献の度合い⑧の4項目について評価した。審査委員は所属機関の案件の議論には参加しないなど、厳正な議論を経て受賞案件を決めた。

(1面参照)

大賞(賞金10万円)の東大グループは、教員企業が研究試作を手掛けた高機能高分子ゲルを大学発ベンチャーで広範に応用できるよう特許権を大学に集中させ、早期審査請求を活用した。大学が技術移転の対価としてベンチャーの新株予約権を受け取る手法は国立大初で、資金の乏しいベンチャーにとって朗報だ。技術移転機関(TLO)が中心になり、大学関連のベンチャーキャピタルやインキュベーション施設をフル活用。技術レベルも高く、高機能毛織物で年内に実用化予定のほか、内外大手企業と提携が進んでいる。

大賞(賞金10万円)の東大グループは、教員企業が研究試作を手掛けた高機能高分子ゲルを大学発ベンチャーで広範に応用できるよう特許権を大学に集中させ、早期審査請求を活用した。大学が技術移転の対価としてベンチャーの新株予約権を受け取る手法は国立大初で、資金の乏しいベンチャーにとって朗報だ。技術移転機関(TLO)が中心になり、大学関連のベンチャーキャピタルやインキュベーション施設をフル活用。技術レベルも高く、高機能毛織物で年内に実用化予定のほか、内外大手企業と提携が進んでいる。

大賞(賞金10万円)の東大グループは、教員企業が研究試作を手掛けた高機能高分子ゲルを大学発ベンチャーで広範に応用できるよう特許権を大学に集中させ、早期審査請求を活用した。大学が技術移転の対価としてベンチャーの新株予約権を受け取る手法は国立大初で、資金の乏しいベンチャーにとって朗報だ。技術移転機関(TLO)が中心になり、大学関連のベンチャーキャピタルやインキュベーション施設をフル活用。技術レベルも高く、高機能毛織物で年内に実用化予定のほか、内外大手企業と提携が進んでいる。

大賞(賞金10万円)の東大グループは、教員企業が研究試作を手掛けた高機能高分子ゲルを大学発ベンチャーで広範に応用できるよう特許権を大学に集中させ、早期審査請求を活用した。大学が技術移転の対価としてベンチャーの新株予約権を受け取る手法は国立大初で、資金の乏しいベンチャーにとって朗報だ。技術移転機関(TLO)が中心になり、大学関連のベンチャーキャピタルやインキュベーション施設をフル活用。技術レベルも高く、高機能毛織物で年内に実用化予定のほか、内外大手企業と提携が進んでいる。

大賞(賞金10万円)の東大グループは、教員企業が研究試作を手掛けた高機能高分子ゲルを大学発ベンチャーで広範に応用できるよう特許権を大学に集中させ、早期審査請求を活用した。大学が技術移転の対価としてベンチャーの新株予約権を受け取る手法は国立大初で、資金の乏しいベンチャーにとって朗報だ。技術移転機関(TLO)が中心になり、大学関連のベンチャーキャピタルやインキュベーション施設をフル活用。技術レベルも高く、高機能毛織物で年内に実用化予定のほか、内外大手企業と提携が進んでいる。

大賞(賞金10万円)の東大グループは、教員企業が研究試作を手掛けた高機能高分子ゲルを大学発ベンチャーで広範に応用できるよう特許権を大学に集中させ、早期審査請求を活用した。大学が技術移転の対価としてベンチャーの新株予約権を受け取る手法は国立大初で、資金の乏しいベンチャーにとって朗報だ。技術移転機関(TLO)が中心になり、大学関連のベンチャーキャピタルやインキュベーション施設をフル活用。技術レベルも高く、高機能毛織物で年内に実用化予定のほか、内外大手企業と提携が進んでいる。

### 川崎市産振財団のプロ

小企業・地元伝統産業の実効的な連携といえる。注目点。大手製薬企業約20社からの受注や、製薬企業の人ばく質構造解析コンソーシアムとの共同研究に結びついている。

小企業・地元伝統産業の実効的な連携といえる。注目点。大手製薬企業約20社からの受注や、製薬企業の人ばく質構造解析コンソーシアムとの共同研究に結びついている。

小企業・地元伝統産業の実効的な連携といえる。注目点。大手製薬企業約20社からの受注や、製薬企業の人ばく質構造解析コンソーシアムとの共同研究に結びついている。

小企業・地元伝統産業の実効的な連携といえる。注目点。大手製薬企業約20社からの受注や、製薬企業の人ばく質構造解析コンソーシアムとの共同研究に結びついている。

### 産学官連携推進部会長の小宮山宏

産学官連携推進部会長の小宮山宏は、産学官連携の推進に努めている。産学官連携の推進に努めている。産学官連携の推進に努めている。

産学官連携推進部会長の小宮山宏は、産学官連携の推進に努めている。産学官連携の推進に努めている。産学官連携の推進に努めている。

産学官連携推進部会長の小宮山宏は、産学官連携の推進に努めている。産学官連携の推進に努めている。産学官連携の推進に努めている。